

刊行にあたって

子どもとその親をめぐる環境や価値観などは、時代とともに変化しています。しかし、親たちは、子どもがどんな環境で育ち、どのような価値観を持って生活しているか、目の届く範囲でしか把握できず、仲が良いと思っていても、意外と子どものことを知らないケースが多いかもしれません。また、何かあったときには「うちの子に限って」と驚き、「子どものことを十分理解していなかった」と反省することもあります。

株式会社明治安田生活福祉研究所は、10代後半から20代の子どもとその親たちを対象にして、株式会社きんざい様と共同で「親子の関係についての意識と実態に関する調査」を行い、その結果をもとに研究を進めてきました。

いつの時代も、「今の若者たちは」とか「時代が変わった」と簡単に評されていますが、子どもたちが持っている考え方やとっている行動を考える際には、背景にある環境やその時代における価値観などについて理解を深めることも必要になるのではないのでしょうか。

10代後半から20代の子どもは、これから進学、就職、結婚といった人生の重大なイベントを迎えます。親としてもそれらのイベントについて対話することは避けては通れません。今どきの子どもたちの働き方に対する意識、男女交際の在り様、婚活事情などは親たちが10代、20代の頃とは様子が違っているようです。

本書では、これから社会に羽ばたく子どもと一緒に語らうための話題、材料としていただけるよう、10代後半から20代の子どもの考え方、行動、環境などの実態について幅広くデータで描くことを試んでいます。

親子を中心とした本企画は、当研究所の前会長・所長の前田茂博氏の発案から始まりました。この企画が、株式会社きんざい様より数多くの助言や協力を得て、書籍として世に送り出せたことは大変喜ばしい限りです。本書を手にとっていただいた読者の皆様が、子どもの成長に合わせて、子どもと大いに語り合っていただき、幸せなご家庭を築いていただくことを願ってやみません。

2017年5月

株式会社 明治安田生活福祉研究所

取締役社長

木島 正博